

令和6年度第2回 瑞穂町図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和6年12月25日(水) 18:00～19:00
- 2 場 所 瑞穂町図書館2階 セミナールーム
- 3 出席者 会長 関谷 忠 副会長 高島 朝子
委員 池谷 芳彦、笹井 鎮彦、吉良 明美、鳥居 智子、田邊 真由美
町 友野図書館長、西村図書係長
- 4 欠席者 関根 孝之
- 5 議 題 (1) 第7回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告
(2) 瑞穂町図書館の利用状況について
(3) 第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画について
(4) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～2、みずほの教育第47号
- 8 会議内容

開会

会長挨拶

議題(1) 第7回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告

(資料1-1、1-2)

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 令和6年9月1日から10月1日の期間で作品を募集しました。小学生の部481作品、中学生の部4作品、高校生の部8作品、一般の部1作品、合計494作品の応募がありました。一次審査で小学生の部の作品を10作品選定しました。中学生、高校生、一般の部は応募作品数が10作品を下回ったため、一次審査を実施していません。二次審査で小学生・中学生・高校生・一般の部の合計23作品を審査し、各部門の入賞者が決定しました。実際に審査した田邊委員から、審査の感想をお聞かせ願えますか。

田邊委員 特に小学生の作品がエネルギーにあふれていました。表彰式で配布された小畑先生の講評に、次に活かせるヒントがたくさん書かれていました。表彰されなかった応募者にも講評を配ることができれば、次の作品作りにつながると感じました。

事務局 講評は学校図書館司書と共有し、作品作りに活かしていきます。子どもには難しい表現も多いため、わかりやすい形で伝えたいです。

- 事務局 上位入賞作品のうち、小学生の部5作品、中学生の部2作品、高校生の部1作品を全国コンクールに推薦しました。表彰式は11月20日（水曜日）に郷土資料館けやき館で行われました。審査結果や表彰式の様子は広報12月号にも掲載されています。
- 関谷会長 このことについてご意見がありましたらお願いします。
- 池谷委員 瑞穂中は400人以上の生徒がいますが、応募作品が2年生1点しかないのは中学校側の課題だと感じます。中学生は忙しいですが、それにしても数が少ないと感じました。
- 事務局 小学校低学年のうちから取り組んできた児童が中学校に進学する時期になっています。その子たちの得意な分野を伸ばす形で取り組んでもらえると良いと思います。
- 関谷会長 どのコンクールも熱心か無関心化で二極化しています。家庭や学校、図書館が背中を押してあげられるといいですね。きっかけがあるかないかで違います。
- 高島副会長 学校の先生も保護者の協力がないと難しいと言っていました。応募するという経験によって周囲とのコミュニケーションにも繋がります。
- 関谷会長 応募すると参加賞が貰えるのもいいですね。隠れた資質を伸ばすような声掛けをしていきましょう。

議題（2）瑞穂町図書館の利用状況について

（資料2-1、2-2）

- 関谷会長 事務局からの説明をお願いします。
- 事務局 瑞穂町の図書館、地域図書室の来館者数と貸出等利用者数の令和6年度と令和5年度の比較です。まず来館者数ですが、瑞穂町図書館と長岡、武蔵野、殿ヶ谷図書室で前年同時期より来館者が多くなっています。貸出等利用者数を見ていただいても同じような推移をたどっています。図書館がリニューアルして以降、町全体として図書館が活発に利用されるようになっていることが推察されます。
- 続いて8月以降に実施した事業について報告します。図書館ファンクラブMIDORIとの共催で夏の体験ボランティアとして「POPづくりボランティア」を2日間実施しました。夏の体験ボランティアは、このほか図書館としてもエントリーし、4日間の受入れを行いました。次は子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩と共催した『おいしいのぼうけん』であそびましょ！です。こちらは子ども劇場西多摩による人形劇とタイアップしたイベントで、絵本「おいしいの

ぼうけん」にちなんだワークショップです。休館日を利用した初めての催しでしたが、祝日だったこともあり、親子連れでご参加いただきました。続いては主催事業「無料配布」です。今年度初めて殿ヶ谷図書室でも実施しました。知らずに来館された方が雑誌を持ち帰る姿も見られましたので、来年以降も全館を会場として実施したいと考えています。このほか、インターン生や中学校の職場体験、小学校の生活科見学の受入れも随時実施しています。最後に、元狭山ふるさと思い出館の外壁塗装工事を1月から行う予定です。

関谷会長 このことについてご意見がありましたらお願いします。
(なし)

議題(3)第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画について

(事前配布資料1-1、1-2)

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 第四次計画は基本的な考え方は第三次計画から引き継ぎつつ、第三次計画以降の町や国、東京都の動きが変わっています。

そのほかの主な変更点は、2点です。1点目は、第2章の最後にSDGsとの関連を追記しています。持続可能なまちづくりを目指す、行政の施策そのものがSDGsであると考えられることから、町は各種計画に関連するSDGsターゲットマークを表記することとしています。子ども読書活動推進計画では、17の開発目標のうち、「4. 質の高い教育をみんなに」、「5. ジェンダー平等を実現しよう」、「16. 平和と公正をすべての人に」「17. パートナリシップで目標を達成しよう」の4つを関連ある目標としました。

2点目は、図書館の取組を大きく整理をしています。図書館がリニューアルしたことや、社会情勢の変化によるものです。こども基本法の制定に対応するものによる新規追加や、読書バリアフリー法の施行による変更です。そのほか、文言変更や現状に合わせた目標変更を行っています。

関谷会長 このことについてご意見がありましたらお願いします。

鳥居委員 子どもの視点というのは具体的にどういうことですか。

事務局 イベント等で企画段階から子どもの視点を取り入れていきたいと考えています。図書館ファンクラブには中学生がいるので、積極的に取り入れたいです。

笹井委員 資料1-1のP3一番下とP4一番上が内容重複しています。またP5「選びやすい配架ことが肝要」となっているので、言葉の抜け漏れがあるのと、肝要という言葉はわかりやすい文言に変更したほうが良いと感じます。

事務局 修正します

田邊委員 保健センターの役割で、子どもが小さいときにブックスタートで本を貰いました。すごく良い取組だとおもいますが、1回で2冊ではなく、渡す時期をずらして1冊ずつ渡してはどうでしょうか。本が親と子と対話のきっかけになるので、図書館に行きたくなる流れになるといいと思います。

事務局 ブックスタート事業の元のパッケージをNPO団体が管理しているため難しい部分はあると思いますが、1つの議題として考えていきます。

事務局 第三次計画まで「読み聞かせをします」という学校の取組がありましたが、中学校・高校になると読み聞かせの機会はどうしても少なくなるため、今回の計画で削除しました。学校の立場として池谷委員の意見はいかがでしょうか。

池谷委員 聞き手だけでなく読む側に回り、中学生が子どもに読むという機会が設けられるといいですね。小中一貫校だといい取組が行われているようですが、瑞穂町は学校間の距離があるので交流がしづらいです。

事務局 社会教育課で実施しているジュニアリーダー事業に、高学年～中学生から幼児への読み聞かせがあります。

高島委員 ティーンズコーナーにいい絵本を置き、そういう絵本を使った読み聞かせや、100分 de 名著で紹介された本のいい部分を短い時間で読み聞かせる時間が取れるといいですね。四小で高学年に読み聞かせをするときに、狂言「附子」をやると、タイトルだけで食いついてきます。いい聞き側にもなると思います。

池谷委員 斉藤孝がやっていた朗読のCDもきっかけになります。自分が読んだときとの違いを楽しんだり、国語の先生を巻き込んでできるといいです。

関谷会長 親世代に対する読み聞かせ講座をやってもいいと思います。

関谷会長 SDG s等の追加、文言変更がありました。今後の流れはどうなりますか。

事務局 本日いただいたご意見を集約し、1月14日(火)から31日(金)まで意見募集を行います。提出された意見を事務局で検討し、その結果を図書館協議会で報告します。

関谷会長 また気づいた点がありましたら事務局にお寄せください。

議題(4) その他

事務局

- ・横田基地第374整備群からのクリスマスギフトについて
- ・令和6年度第2回図書館講座について

高島副会長 閉会